

○北海道地方の地震活動

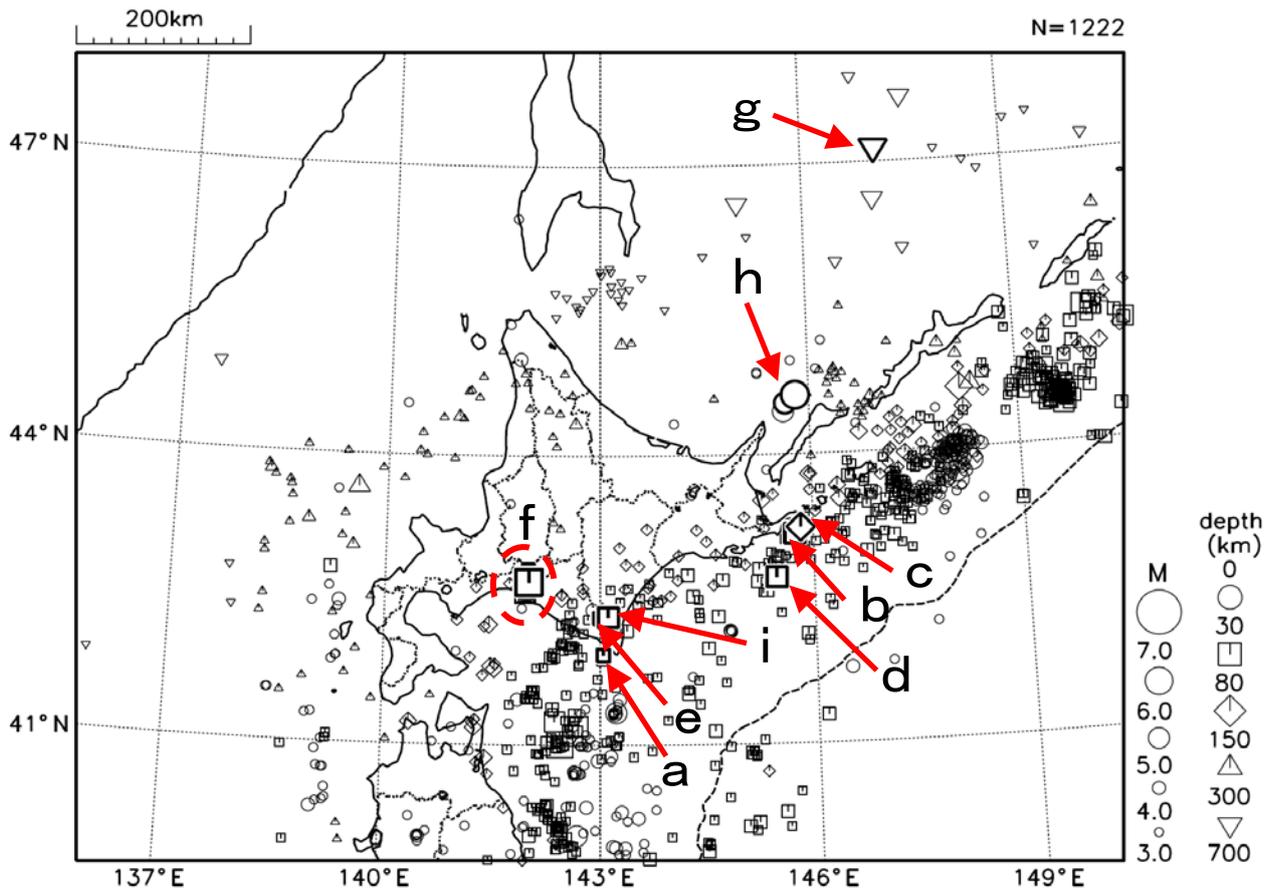


図5 北海道地方の震央分布図（2018年1月1日～12月31日、M \geq 3.0）

〔概況〕

2018年に北海道地方で震度4以上を観測した地震は32回（2017年は4回）であった。2018年中の主な地震活動は次のとおりである。

1月14日18時07分に浦河沖の深さ41kmでM4.7の地震（図5中のa）が発生し、北海道浦河町で震度4を観測したほか、北海道と青森県、岩手県で震度3～1を観測した。

4月14日04時00分に根室半島南東沖の深さ53kmでM5.4の地震（図5中のb）が発生し、北海道中標津町で震度5弱を観測したほか、北海道と青森県で震度4～1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

4月24日17時53分に根室半島南東沖の深さ87kmでM5.4の地震（図5中のc）が発生し、北海道浜中町、別海町、根室市で震度4を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。

5月18日03時42分に釧路沖の深さ47kmでM5.8の地震（図5中のd）が発生し、北海道根室市で震度4を観測したほか、北海道と青森県で震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

7月16日02時13分に日高地方東部の深さ55kmでM4.9の地震（図5中のe）が発生し、北海道浦河町と幕別町で震度4を観測したほか、北海道と青森県、岩手県で震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

9月6日03時07分に胆振地方中東部の深さ37kmでM6.7の地震（図5中のf）が発生し、北海道厚真町で震度7を観測したほか、北海道から中部地方の一部にかけて震度6強～1を観測した。この地震は、陸のプレート内で発生した。その後、

北海道の胆振地方中東部では地震活動が活発な状態で推移し、一連の地震活動により最大震度5弱を観測した地震が2回、最大震度4を観測した地震が21回発生した。

これらの地震活動により、死者41人、住家全壊415棟などの被害が生じた(11月6日10時00分現在、総務省消防庁による)。気象庁は今回の地震活動について、胆振地方東部を中心に顕著な被害が発生したことから、その名称を「平成30年北海道胆振東部地震」と定めた。

11月2日20時01分にオホーツク海南部の深さ487kmでM6.1の地震(図5中のg)が発生し、北海道から岩手県の太平洋沿岸で震度2～1を観測し

た。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

11月5日04時26分に国後島付近の深さ20kmでM6.3の地震(図5中のh)が発生し、北海道標津町、羅臼町で震度4を観測したほか、北海道東部を中心に震度3～1を観測した。この地震は、陸のプレートの地殻内で発生した。

12月30日04時08分に十勝地方南部の深さ51kmでM5.3の地震(図5中のi)が発生し、北海道浦河町で震度4を観測したほか、北海道と青森県、岩手県で震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。